

# ダム下流の土砂・河床地形管理 に関するセミナー



ダムの存在により河川における土砂の移動は遮断され、ダム下流河川の河道の構造や河床材料、生態系は変質します。ダムの下流では土砂の還元などが行われていますが、どの程度の土砂量をどのように供給したらよいかは必ずしも明らかではありません。今回のセミナーでは、砂河川である淀川水系木津川を事例としながら、ダム下流における土砂供給や河床地形管理について議論をする予定です。

日時 平成 29 年 1 月 26 日 (木) 14:30-17:30 (交流会 17:45-19:15)

場所 TKP 新大阪 カンファレンスセンター ホール 6 B  
<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka/access/>

主催 水源地生態研究会

後援 (一財)水源地環境センター、応用生態工学会

●参加費：無料 (ただし、交流会については会費 3,000 円[当日徴収])

●定員:100 名 (定員になり次第締め切ります)

★CPD: 「ダム下流の土砂・河床地形管理に関するセミナー」は土木学会継続教育 (CPD) 制度の認定プログラム (認定番号: JSCE16-1271、2.8 単位) です。

★申込み: ①氏名・ふりがな②所属③交流会の出欠④連絡先 (郵便番号、住所、電話番号、Email アドレス) を明記のうえ、メールで [seminar@wec.or.jp](mailto:seminar@wec.or.jp) (水源地環境センター研究第三部) までお申し込みください。



## ～プログラム～

14:30-14:35 開会（水源地生態研究会）

14:35-14:45 趣旨説明

角 哲也（京都大学防災研究所）

14:45-16:25 研究報告

- ダム下流における土砂供給の評価手法—アユの摂食の視点から—  
萱場祐一（土木研究所）
- ダム下流における土砂還元とその生態影響  
田代 喬（名古屋大学）
- 土砂移動量—河床地形—生態機能関係のモデル化  
竹門康弘（京都大学防災研究所）
- 木津川における土砂および河床地形管理  
角 哲也（京都大学防災研究所）

——休憩——

16:40-17:25 議論

進行：辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）

17:25-17:30 閉会（水源地環境センター）

（17:45-19:15 交流会 於 TKP 新大阪 カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6 A）

問い合わせ先：水源地生態研究会事務局  
一般財団法人水源地環境センター 研究第三部  
〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-14-2 電話：03-3263-9945